

2019年10月3日 第2391回例会
10月第1例会

RITテーマ ROTARY: ROTARY CONNECTS THE WORLD
「ロータリーは世界をつなぐ」

本年度会長テーマ
「原点を確かめ、もっと親睦、もっと奉仕を！」

「経済と地域社会の発展月間」「米山月間」

◆ 会長時間 ◆

斉藤会長



10月は「経済と地域社会の発展月間」です。雇用されているにもかかわらず1日にわずか1ドル90セント（約220円）で暮らしている人の数は、世界で約8億人。ロータリーは、貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動しています。

ロータリーによる具体的な活動事例を3件紹介します。

1. 貧困の連鎖を断ち切るための女性への支援。
グアテマラ僻地に住む女性の多くは、銀行から融資を得るための担保がありません。グアテマラのロータリークラブは、女性たちが共同出資して小口融資プログラムを開始できるよう、地元400人の女性たちを対象に金融リテラシーの研修を実施しました。

2. スキル開発と経営の研修。エクアドルでは、250口以上のマイクロローンを融資しつつ、地元住民270人を対象に裁縫、パン焼き、配管、マイクロクレジット、経営管理、リーダーシップに関する研修を実施しました。

3. 持続可能な農業。西カメルーンでは、土壌浸食と土壌劣化のために収穫が大きく減少していました。このような状況を受け、ロータリー会員は土壌を肥沃にし、土壌浸食を食い止め、農作物を市場に出荷するのに必要なスキルを農家に指導。その結果、収穫量が増し、農業収入が増えました。

以上、日本とは異なる環境での事例ですが、ロータリーの世界でこのような活動をしています。

● 会務報告 加藤幹事

※ロータリーレートが10月から1ドル108円（現行106円）に変更になります。

※例会終了後、4階「アマリス」において10月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

★ 青少年交換受入学生 (月例報告書9月分)

2019-2020年度青少年交換受入学生
Vani Suresh

◎健康状態について (About your health condition)
私のけんこうはよいです。もんだいはありませんでした。

◎通学・勉強状況について (About your school life)

学校は楽しかったです。テニスクラブに入った。たくさんのともだちができた。

◎家庭生活について (About your life with your host family, etc)

かぞくはしんせつです。おかあさんとおとうさんは日本語おしえてくれた。

◎行事参加状況 (About events you joined (Inc. where. when. etc))

おくだおねえさんのダンスを見ました。楽しかったです。9月28日

◎旅行・見学等の参加について (About trips (Inc. where. when. etc))

私は平和こうえんとげんばくドームに行きました。よかったです。だけど、とてもかなしかったです。9月8日

2019-2020年度青少年交換派遣学生

奥田 麟太郎

◎あなたの健康状態について

良好です。一週間に一度は、お肉を食べて肉力をつけています。

◎通学・勉強状況について

先月と変わらず、バスで通学しています。

勉強状況は、先月と変わらず良好です。Ceramicsの授業では、湯飲み茶碗や、置物などを作りました。Food&Nutritionの授業では、チョコレートクッキーやパンケーキ、マフィンを作りました。この授業は個人作業ではなく、班で協力して調理をするのでとても楽しいです。私がいまいち理解できていないときは、班のみんながアドバイスをくれたり助けてくれたりするので感謝しています。数学の授業は、関数を学んでいます。先月は全く数学の英単語がわからず大変でしたが、少しずつですが、わかるようになってきました。日本の数学とは違った記号や表記をするので混乱してしまっていますが、面白いです。私がいまいちわからなくて困っているときは、班のみんなが助けてくれます。同じ班の学生にDeniceくんというスイスから私と同じように留学で来ている男子がいます。その子に数学を教えてもらっています。彼は数学の英単語も理解しており、説明もわかりやすいです。私もDeniceに負けないように、勉強していきたいです。

◎家庭生活について

ホストファミリーの家に隣接するスポーツセンターのテニスコートで毎週月、水曜日にテニスの球出しのお手伝いをし、木曜日にテニスのレッスンを受けています。球出しのお手伝いは、子どもたちと楽しくコミュニケーションをとることができ、やりがいのある仕事です。自分のレッスンは30分と短いですが、内容の濃い、充実した時間を過ごしています。一年後にどれだけパワーアップすることができるか楽しみです。

趣味のピアノを、毎週木曜日のテニスレッスンの前の30分、次のホストファミリーのお宅に行って弾かせてもらっています。今まで弾いてきた曲を忘れない程度に弾いていますが、新しい曲にもこちらで楽譜を買ってチャレンジしてみたいです。日本の楽譜と違いがあるのか気になります。

9月1日に、お父さんと弟でサンフランシスコへ行きました。市内を歩いて回り、市場を見たり、City hallを見たりしました。サンフランシスコのCity hallはとても歴史のある建物で、宮殿のような作りになっていてびっくりしました。Yerba Buena Gardensという公園で、盆踊りの祭りが開かれて

いました。サンフランシスコに在住している日本人や、日系二世の方々が日本の文化を広めるために、開催しているそうです。その後、「Asian Art Museum」に行き、仏教文化の展示や、中国やインドに関する展示を鑑賞しました。この美術館は3階建てで、とても大きな美術館ですが、私たちが訪れたときは、ちょうど展示の入れ替えで3階部分しか見ることができませんでした。サンフランシスコには、約50の美術館や博物館があります。(自分で調べた結果)一年間で何カ所の美術館や博物館に行くことができるか楽しみです。

◎行事参加状況(ロータリーの例会等)

9月の7、8日に「Over Night Party」という第5150地区と第5170地区が合同でお泊まり会のような行事がありました。全部で20人が集まりました。びっくりしたのは、集まったのが宿泊施設などではなく、ロータリアンの家だったことです。とても大きな家で、アメリカの壮大な建物と土地、すごさを感じました。一日目は昼過ぎに集まり、その後、ビーチに行きビーチバレーやビーチサッカーをしました。寒い中海に飛び込んでいく留学生もいました。夜遅くまで、ダンスをしたり、話をしたり、ゲームをしたりしました。その日誕生日だった留学生の誕生日パーティーをしました。それぞれの国のバースデーソングを歌い、とても盛り上がりました。一度に何カ国ものバースデーソングを聴き、異文化を体験できるのも、このロータリー交換留学だからこそだと思えます。そこで私と同じ第2710地区から派遣されている留学生の坂本君と再会し、お互いの生活状況について話しました。久しぶりに、お互いをよく知ったもの同士で話をするのができて、気持ちが少し和らぎました。

9月29日に「Bike ride in San Francisco」に参加しました。ホストファザーと共に参加しました。サンフランシスコ市内のフェリー乗り場からゴールデンゲートブリッジまでを往復しました。約12マイルの道のりで、久しぶりに自転車に乗った私は疲れましたが、いい運動になりました。ゴールデンゲートブリッジをとて近くでみて、自分の足で橋を歩く貴重な体験ができました。ちょっとしたアクシデントがありましたが、それも含めていい思い出になりました。

◎旅行・見学等の参加について

今月は、ホストファザーが仕事の出張で三週間不在で、ホストマザーもダンスの仕事が忙しかったため、土日は家にいることが多かったです。来月はそのような状況でも、自分から友達を遊びに誘いたいと思います。

来月の3日から11日までニューヨークに旅行することになっています。とても楽しみです。

◎その他全般、問題点等

(ホストファミリーの移動予定がある場合、移動先・移動日を記入してください。)

金曜日の放課後によくダウントウンに行きます。僕がベジタリアンのお宅にステイしていることを知っている友達が、ご飯に誘ってくれます。この前はみんなでラーメン屋さんに行きました。サンマテオには移民が多く、各国の飲食店があります。写真は日本の「味千ラーメン」という熊本発祥のラーメン屋です。

9月8日に日本語のクラスで一緒のJung Haye(ジョンヘイ)くんのおうちで夕食をご馳走になりました。彼はとても日本が好きで、面白い子です。彼と話していると笑顔になることができるので、毎日学校で会うことが楽しみです。

9月20日に「Food Fair」という、各クラブがいろいろな食べ物を昼休憩中に中庭で売るイベントがありました。日本ではなかなかないイベントです。アメリカの高校は、日本よりもっと生徒が主体となっているいろいろなイベントを運営していると思います。

9月27日の放課後に、「home coming game」というホームグラウンドでのfootballの試合がありました。footballの試合を見るのは今回が初めてでとても興奮しました。しかし、ルールをあまり理解できなかったので、少し残念です。次回観戦するときまでには、ルールを完璧にマスターしたいです。ルールがわからなくても盛り上がって楽しむことができるのが、スポーツのよいところだと思います。

9月28日に友達のIanくん家族にサンフランシスコジャイアンツの野球観戦に連れて行ってもらいました。スタジアムが3階建てでとても大きかったことにびっくりしました。今回の対戦相手はロサンゼルスドジャーズで、まさかの前田 健太投手が8回裏に登場しました。前田投手は元々広島東洋カープで活躍していたので、カープファンの私はとても興奮しました。結局ドジャーズが2-0で勝ちました。初めてのメジャーリーグの試合観戦は迫力がすごく、また野球観戦にいきたくなりました。

アメリカでの生活が約2ヶ月経ち、英語は先月に比べると、自分からしゃべる機会が少しですが多くなったと思います。しかし、もっと積極的にコミュニケーションをとっていきたいです。アメリカでの生活は「初めて」がたくさんあります。初めてやることはやってみないとわからないので

とりあえず行動に移すことが多くなったと思います。日本にいるときは先のことを考えてしまい、考えで止まってしまうことがありましたが、今は思い切って行動できるようになったと思います。「あのときこうしておけばよかった。こう言えばよかった」と、思うことがあるので、すべてにおいて後悔のないように残りのアメリカでの生活を過ごしていきたいです。





● 委員会報告

✳ プログラム・出席委員会

出席報告 笹野君

本日 (10月3日・木曜日)

会員数 87名 出席者 79名

欠席者 8名 ご来客 2名

ご来賓 0名 ゲスト 1名

計 82名

前々回 (9月19日・木曜日)

出席率 100%



✳ 会報雑誌・広報委員会 藤田(明)君

ロータリーの友誌紹介

✳ 職業奉仕委員会 土井委員長

来週10月10日(休)は職場訪問例会で、広島地方裁判所にお伺いいたします。

諸注意を参加者のBOXに入れております。

集合場所は広島弁護士会館ですので、お間違いない様よろしく願いいたします。

● 会員記念日

祝 10月お誕生日おめでとうございます。

(8名)

寺岡君 鈴木君 福田君
小田君 村上(智)君 前橋君
長谷川君 井下君



祝 連続出席100% (8名)

大本君 (27年) 森信君 (25年)
木村君 (20年) 土井君 (20年)
新原君 (18年) 蓼原君 (4年)
吉井君 (3年) 川村君 (2年)

連続出席記念品贈呈



25年
森信 秀樹君



20年
木村 構臣君
(14Kサファイア入りバッチ)



20年
土井 英幹君
(14Kサファイア入りバッチ)

🎁 ご結婚記念日おめでとうございます。

(11名)

柴田君 新本君 刀禰君
森信君 上野(寛)君 木本君
豊岡君 松岡(幹)君 荒谷君
金本君 田中君

●スマイルボックス SAA 村上(健)副委員長

😊垣見君（自主申告・トリプル）

10月1日に㈱マステクノから㈱コントレール（飛行機雲）に社名変更いたしました。

トリプルを出宝いたします。

😊吉田(大)君

広島経済レポート9月19日号の「ざゆうの言葉」欄に寄稿されていました。

JC理事長に就く折、奥様から「人間万事塞翁が馬」、予測できない禍福に振り回されるなという話を聞いて以来、座右の銘にされたそうです。

配管材商社の会社を創業したご尊父 吉田 愷忠 会長の言葉

「企業は人を育てる道場であり、金儲けの場ではない。あくまで目的は世の為 人の為に役立つこと」という真意を心に刻み、経営理念「奉仕する」「時代に合わせる」を実行すべく、取引先の営業支援などに事業の幅を広げられているそうです。

😊村上(健)君（自主申告）

9月の最終例会日に、私は大切な例会を欠席し、ヒロコシルッソ杯ゴルフコンペが賀茂カントリークラブで開催され、参加して参りました。

私自身初めての参戦でしたが、結果グロス105、ネット82.2で、参加者187人中166位でした。

例会をさぼって不甲斐無い結果を反省しスマイルに出宝させていただきます。

また、一緒のコンペに参加された、田原君、吉田(大)君、西原君、木本君も出宝お願いいたします。

😊中川君

働き方改革に優れた取組を実践する企業を認定する「広島県働き方改革 実践企業認定制度」で、第5回認定授与式が先日開催されました。

平成29年6月に創設された認定制度で、過去4回で166社、今回は55社が認定され、認定企業は212社になったとのこと。広島ガスさんも今回、働き方改革実践企業に認定されています。

😊中村君

本日（10月2日）の中国新聞「MICE像 意見交換」によりますと、広島市・地元経済界検討会議が初会合とあり行政と地元経済界の初会合が1日開かれたとの記事が掲載されています。

西区の商工センター地区の卸や印刷、食品の協同組合など20団体でつくる「広島商工センター地域経済サミット」の8人のメンバーの中に広島食品工業団地組合理事長として中村君も参加されておられます。

「MICE」が実現しますようお祈り申し上げます。

■米山奨学委員会 強調プログラム



米山奨学生
彭 子祐さん

はじめに

私は2019年度米山奨学生、広島大学の彭 子祐です。この度は、米山記念奨学金に採用していただき、本当にありがとうございます。今日は私について皆様に話したいと思います。

Part.1 私のこと

私は1991年10月14日に台湾の台中で生まれました。台湾の大きさは日本の九州と同じくらいですが、一番大きな都市（日本の東京みたいなところ）は台北で、国際空港があるところは桃園で、二番目大きな都市（日本の大阪・京都みたいなところ）は高雄で、真ん中のところは私が生まれた台中で、景色一番綺麗な東側は花蓮と台東があります。私の趣味は旅行と写真撮ることです。連休や休みの時は色んなところを旅行して、いい景色を見て、写真を撮ることは私にとって最もいいことだと思います。

私の家族は父、母や私より6年上の兄一人で、4人がいます。また、今年87歳の祖母がいます。祖母は日本統治時代の台湾に生まれたので、日本語は上手です。祖父は私6歳の時に亡くなりましたが、祖父も日本統治時代に生まれて、1951年にその時の台北帝国大学の法律学科を卒業しまして、すごく偉い弁護士さんでした。さらに、祖父は台中西南ロータリークラブ（RID 3460）三代目の会長で、これは私とロータリーの縁だと思います。

Part.2 就学背景

私は高校までは台中で就学していましたが、大学から台北に行って、台北医学大学歯学部 歯科技工学科に入学して、2015年6月に卒業して、同年

の9月広島に留学しました。そして、2015年10月から、広島大学大学院医歯薬保健学研究科 口腔健康科学専攻に入学して、今は博士課程2年生です。私は歯学部 of 学生ですが、歯科医師ではなく、歯科技工士です。歯科技工士は入れ歯や歯の被せ物などを作成する人です。歯の被せ物は例えば、一般に「銀歯」と呼ばれていて、歯の無いところに歯の形を回復するための“クラウン”と“ブリッジ”、および、歯が1本も無くなった場合の入れ歯や矯正治療した後に歯の位置にするための装置などです。

Part.3 なぜ、留学先に日本を選んだのか

台湾の歯科における臨床や研究が世界に遅れをとっているわけではないけど、歯科医師以外の歯科医療分野においては、歯科衛生士の国家資格がないことに加えて、歯科技工における学術や研究が充実していません。一方、日本は歯科医療分野において世界トップレベルと感じますため、私は台湾の口腔ケアを支援する歯科医療チームの一員をめざして、歯科医療分野において日本の大学院へ進学して、とりわけ日本国内で特にレベルの高い広島大学で研究しようと思いました。

Part.4 私の研究

現在の日本は、高齢化が世界的に速いスピードで進んでいます。しかし、1989年に“8020”という“80歳になっても自分の歯を20本以上たもつ運動”が始まって以来、日本人の残存歯数は年々増加していますので、今後は部分床義歯の需要はますます増加すると考えられます。ただし、今までの部分床義歯は金属材料が広く用いられてきました。このような義歯は、金属色による審美性はよくないでした。なので、私の研究は金属を使用せずに、審美歯科材料を用い、審美的な部分床義歯を患者さんに提供したいと思っています。これらの審美歯科材料はいい耐久性を持ち、生体適合性にも優れて、金属色ではなく、歯とよく似た色をしており、審美性にも優れています。このような新たな治療法は、患者の生活の質の向上に貢献することができると考えられています。さらに、研究者として、自分の研究が世界中の人々に見られることが重要です。私は今年、2本の英語論文が国際ジャーナルに掲載されました。また、様々な国内や海外の学術大会にも発表しました。

Part.5 これからの目標

まずは、早めに博士号を取得したいと思っています。

次は、日本の大学院で研究方法と臨床技術を学んだ後、台湾に帰り、教育の現場である大学の歯学部で実践し、台湾の歯科分野に貢献したいと思います。

さらに、将来的には、日本と台湾の大学の架け橋になり、教育・研究など緊密な連携を作りたいと思ひ、できれば日本と台湾のロータリークラブの架け橋にもなれるように頑張りたいと思ひます。もちろん、米山奨学会ですが、後輩のお世話や学友会の交流なども積極的に参加したいと思います。おわりに

最後ですが、ご支援いただいた皆様への感謝およびロータリーの精神を忘れず、より一層勉学に励み、社会に貢献できる人間を目指してまいります。



米山奨学会への特別寄付のお願い

米山奨学委員長 瀬崎 敏正

米山奨学事業は日本のロータリアンが作り育てた国際奉仕プログラムです。

事業の推進は全国約9万人のロータリアンの寄付によって支えられています。

2018-19年度の寄付金総額は約14億1,157万円で、2019学年度は868名の米山奨学生を支援しています。これまでに支援してきた奨学生数は、累計で21,023人（2019年7月現在）、その出身国は、世界129の国と地域に及びます。これらは全てロータリアン1人ひとりの浄財によるものです。

米山月間にあたり米山奨学事業の趣旨を十分にご理解の上、特別寄付にご協力いただきたく、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
10/31(木)	新 会 員 卓 話 藤田 千加子 君・寺岡 孝 君

<p>例会日・木曜日 12:30~13:30 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島 会 長 齊藤 昭一 幹 事 加藤 博基</p>	<p style="text-align: right;">広島西RC 検索 </p> <p>事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870 E-mail : hwrc@godorc.gr.jp 作 成・会報雑誌・広報委員会</p>
---	--